

## 母乳によるサイトメガロウイルスの伝播

千葉 峻三（札幌医科大学）

### 〔目的〕

サイトメガロウイルス（CMV）の母乳中への排泄が起り得るか、その頻度を検討するために以下の研究を行った。

### 〔材料と方法〕

札幌市のT病院産科に入院中の産婦ならびに同病院小児科に入院中の未熟児の母親から搾乳した新鮮な母乳からCMVの分離を試みた。CMVの分離はAhlfors らの方法に従い、図1に示した如く行った。なお、検体を接種する際に細菌汚染を防ぐためにミリポアフィルターによる濾過も併用した。

### 〔結果〕

表1に現在までの結果を示した。母乳遠心中間層を濾過しないで直接細胞に接種した27検体では10検体が細胞汚染によりウイルス分離判定不能であったが、ミリポアフィルターを濾過して接種した17検体では全例2週間以上の観察が可能であった。CMV分離陽性であったのは、ミリポアフィルターで濾過した検体の1例のみで、これは出産後4週を経過した母乳であった。

以上の結果から母乳中のCMVはCell-free の状態で存在すると思われるので、ミリポアフィルターで濾過して接種する方法により細菌汚染を防ぎ試験効率を上げ得ると思われる。更に例数を増して検索を進める予定である。

図1. 母乳からのCMV分離

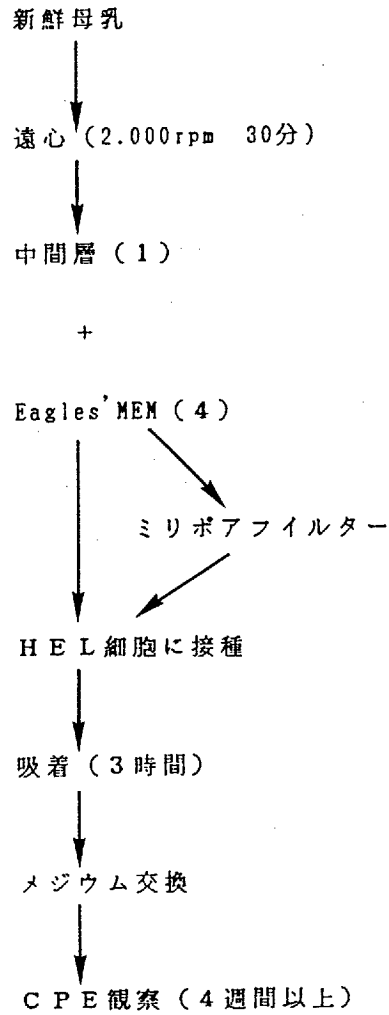


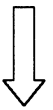
表 1 . 母乳からのCMV分離成績

出産後日数	被検例数	判定可能	陽性例
< 1週	18 (8)	14 (8)	0 (0)
1 - 12週	9 (9)	3 (9)	0 (1)
計	27 (17)	17 (17)	0 (1)

カッコ内の数値はミリポア濾過例



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



〔目的〕

サイトメガロウイルス(CMV)の母乳中への排泄が起こり得るか、その頻度を検討するために以下の研究を行った。